

せんだん

西部小4つのたから
大きなうたごえ 元気なあいさつ
すなおな心 つなぐ心

皆の思いが結実した交通安全教室

先週 30 日は昨年度実施できなかった交通安全教室を、曇り空で涼しい風が運動場を通り抜ける絶好のコンディションの下、全校児童そして市役所、警察署、交通指導員の皆様の指導を受け、無事に実施することができました。

当日は、たくさん子ども達が自転車を引いてきてくれたおかげで、実際に正しい乗り方を体験することができました。また、神埼市内は安全のためヘルメット着用を必須としていますが、そのことも確認することができました。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。また、10名近く保護者の方がお手伝いをしてくださいました。この場を借りて御礼申し上げます。低学年は校外コース、中学年は直進コース、高学年は模擬コースとそれぞれチャレンジしました。2年生が1年生に教える姿が微笑ましく、1年間の成長を感じました。中学年の直進コースは、自転車に乗り慣れている子でも白線から出ないように乗るのは難しかったようで、真剣な表情でした。高学年は、限られた時間内でできるのか心配していたのですが、すぐにやり方を飲み込み、短時間で終わることができていました。

実施前日は大雨で心配しましたが、安全教育担当の中地先生を中心に、前日のコーン立てや早朝からのライン引き、準備と職員も奮闘しました。入学式に引き続き、皆で成功させた行事となりました。最後の反省会では、「子ども達が話をきちんと聞いてくれたので指導しやすかったですよ。」と言われ、大変嬉しく感じました。「話が聞ける＝より多くのことを学べる」ことになり、子ども達にとって大切な資質です。安全そのものの学びですが、安全面を支えてくれる存在に気付く機会にもなったようです。



全校朝会の話 「時間をまもる」

4 月後半になり、休み時間後の子ども達の動きが変わりました。そのことを実際の画像を見せながら紹介しました。1 分ごとの変化を画像で見せていきました。

4月のある日の20分休み後のようす

10:36



走って教室に戻る姿です。10:38にはほぼ運動場は空っぽです。片付けを交替でするクラスもあります。この切り替えが大切です。しっかり遊ぶからこそ集中ができます。時間で行動すると決め、動ける場所に感心しています。

高学年の教室に入ると、いつも感じるのが、書くことをためらいなくできる子ども達が、たくさんいるなあとことです。板書を写すことから自力で考えを書くところなど、書く時間は毎時間必ずあるので、書き慣れというのは大切な学習習慣です。慣れてくると質が高まってきます。是非、今の習慣を継続し、力をつけていってほしいと思います。

5月のめあて 【友だちとなかよくしよう】

野田先生から人権を守ることについて話され、友達と仲良くしようとのめあての紹介、そのためには、ぼかぼか言葉やぼかぼかアクションをつかうこと、友達のよいところを見つけることを呼びかけてくださいました。

相手への思いは呼称に表れます。学校では人権の観点から、男女共に「〇〇さん」を推奨しています。〇〇さんという言い方が教室に浸透していくことで、互いを大切にしているという空気が醸成されていきます。

